

# ぐんぐん伸びろ 菅尾の宝



豊後大野市立菅尾小学校 学校だより  
第42号 2019. 3. 5

## おわかれ遠足 3/1

からっと晴れた暖かい春の日。まずは手取蟹戸（てどりがんど）を見ました。「おおいた豊後大野ジオパーク」の「ジオサイト」の一つです。大野川の川岸に見られる形の変った岩です。地層に大きな力が加わった際に、地下の堅い砂岩と泥岩の層が板戸のように立ち上がったものなのだそうです。その後、千歳ひょうたん公園へ。6年生と一緒に楽しみました。宝探しをして景品のお菓子をゲット。このお菓子は夏の廃品回収の収益金で購入しました。それから、新計画委員が考えた「けいどろ」「ジャンケンピラミッド」「O×クイズ」をしました。6年生の言葉の「小学校生活最後の遠足」「僕たちのために計画してくれて・・・」にジーンとききました。



景品のお菓子ゲット

73人  
全員写真



## リーディング・バディ 3/4

リーディング・バディも3回目となりました。最終回は、下級生が6年生に読み聞かせをします。下級生が選んだ本は以下の通りです。

- A班 つみきのいえ、モグラくんがみたおひさま
- B班 こんとあき、いとしの犬ハチ
- C班 トキのキンちゃん

せつぶんのひのおにいっか

- D班 ヒョウのハチ、まほうつかいのトビイ

練習してきた読みを一生懸命披露する下級生と、それを受け止めて真剣に聞く6年生。温かい時間でした。



## プログラミング教室 2/28

日本文理大学の鈴木秀男教授と5名の学生さんが来校しました。最初に、プログラミングによりライトを付けたり消したりして友だちと楽しむゲームをしました。それから、Micro Bitを使って自分でプログラミングをしました。最初は、聞きながらこうかな、ああかなとやっていたのですが、だんだん慣れるにしたがって、自分たちでどんどん進められるようになりました。その後、線の上を走る車や物にぶつくと方向転換する車を見せていただき、脳トレゲームもさせていただきました。自分で表示やゲームを創ることができるというのは興味深かったようです。

アソニョンハセヨ

韓国の学生さんもいました



## 5, 6年和楽器体験教室の感想 2/22

《尺八》 ぼくは、尺八を吹いた時、最初は、音そのものが鳴りませんでした。でも、菊水先生が吹いているのを近くで見て吹いてみたら、音が鳴りました。音が初めてなった時、ぼくは、とってもうれしかったです。でも、菊水先生ほどきれいな音を鳴らすのは無理でした。しかも、吹いた後、視界がぼやけてきました。（剛太）  
《三味線》 演奏では、音を出すことだけでなく、歌も歌っていたのには、驚きました。テレビなどで聞くことはあるけど、実際に聞くことができてよかったです。・・・手を上げたり下げたりするだけでも音が違うということが実際に体験してわかりました。（蓮斗）

《琴》 わたしは、琴がりゅうにみたてられていることがびっくりしました。琴は初めてひいたけど、いがいと上手にひけたのがうれしかったです。また、琴をひきたいなと思いました。（日和）

## ～夢・希望・目標に向かって6年～

大海蓮斗

My dream is to be get a job useful for people.

ぼくの夢は、何か人の役に立つ仕事に就くことです。自分は運動をすることが好きなので、体を思うように動かせない人の役に立てたらいいなと考えています。

今、体を思うように動かせない人の役に立つには、どのようなことがあるのか、また、どのようなことをすれば生活が楽になるのか、考えています。

